



# 大津

議会だより



上井手取入口閘門（瀬田上井手）

## 12月定例会



大津町議会

第51号

平成22年2月1日

新型インフルエンザ予防接種1000円に軽減… P 2

委員会レポート…………… P 3

研修報告…………… P 4～5

請願・陳情…………… P 6

一般質問(9名)…………… P 7～15



12月定例会

# 新型インフルエンザ予防接種 一回千円に軽減

12月定例会を12月11日から18日までの8日間の会期で開きました。

が、岩戸溪谷入口付近にトイレ施設を整備するため2年間分の交付金を積み立てるものです。

## 条例の制定議案

大津町電源立地地域対策交付金事業基金条例が提案されました。

発電施設などをかかえる自治体に国から交付される財源（年450万円）で関係地域の整備事業をおこなってきました。

## 町道認定議案

旧若草学園進入路を「法務局通線」として認定するものです。

## 一般会計補正予算

優先接種者への新型インフルエンザワクチン接種補助金が2992万円、ワクチン接種費用は1回で3600円ですが、補助により1回の自己負担が1000円となります。林業振興として大津小学校分離新設校建設に町有林木材を利用するため761万円で伐採委託します。

○「電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書の提出」  
○「改正貸金業法の完全施行等を求める陳情書」の2件を採択し国・関係機関に意見書を提出。  
○「浸透枘型調整池の建設に関する陳情書」は、趣旨採択しました。

## 請願・陳情

その他2件の請願は賛成少数で不採択としました。（別紙報告書参照）  
一般質問は9議員が行いました。

予防接種



## 追加議案

### 「動産の買入れ」

町立学校情報教育機器

等購入

備品名 情報教育機器

等（パソコン

411台）

購入金額 5355万円

購入相手 ㈱エヌジェー

ケー熊本営業

所

賛成多数で可決。

### 「大津町教育委員の任命同意」

氏名 那須 雪子（64歳）

現職の宮崎教育長が平成22年1月11日に任期満了となるため、新たに那須雪子さんを教育委員に任命。宮崎教育長、ご苦勞様でした。全員賛成で同意しました。

### 宇野副町長退任 ご苦勞様でした

大津町助役、副町長を歴任されてきた宇野博明氏が12月21日をもって退任されました。長い間ご苦勞様でした。

# 委員会レポート

## 総務

### 一般会計補正

**Q** 乗り合いタクシーの利用状況はどうなっているか。

**A** 路線バスが平成21年4月に桜丘線、10月に高森線が廃止され、毎日2回往復へと利用回数

を増加し、利便性を図った。20年度の利用者は月に122人だったが、21年度は月に340人を見込んでいる。約280%の増加となる。

**Q** 里道の売買単価の基準や根拠はあるか。また年間の取扱いはいどのくらいか。

**A** 里道が接する土地の固定資産税評価額を基礎に検討して決定している。売払件数は、年間5、6件となっている。

### 改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情

**Q** 相談体制はどうなっているか。

**A** 法律相談は月に2回行っており、消費者生活相談は月に4回行っている。また、電話相談等は県消費者センターで



も行っている。相談件数は多くなってきた。

## 文教厚生

### 一般会計補正

**Q** 子ども医療費の増額について。

**A** 子どもの数については、平成20年度に比べて約50名増加。医療費については、他の市町村に先駆けて県内の医療機関の窓口での支払いを現物給付としたことと新型

インフルエンザの流行などにより医療費が増えた。  
**Q** 障害者福祉費の扶助費の障害福祉サービス事業の増額理由は。

**A** 住民利用者への福祉サービスの周知により、生活介護事業、施設入所支援事業、就労移行支援事業等を中心に延べで390件と利用者が増加し、サービスが充実し

てきており増額になった。  
**Q** 要保護・準要保護について、対象世帯が見込みより増えたという事だが、認定基準はどうなっているか。

**A** 世帯の総収入が生活保護基準と比べて1・0以下である事を基準とし、生活の様子については学校長・民生児童委員に調査を依頼し意見

書を提出してもらっている。



## 経済建設

大津町電源立地地域対策交付金事業基金条例の制定について

**Q** 交付金の性格はどういうものか。

**A** 水力発電施設がある市町村に国から県を通して補助金として交付される。

**Q** 条例を制定する必要があるのか。

**A** 補助金は単年度で使わなければならない。2年分を一括した事業としたいので基金を創設して補助金をプールする必要がある。

**Q** どのような事業内容か。

**A** 事業費は用地含めて1100万円。工事内容は多目的トイレ、和式トイレ、芝はり、ベンチの設置、障がい者用の駐車場の整備等である。

**Q** 町道の路線認定について法務局が建設される周りの道路は認定し

てあるのか。

**A** 町道若草学園通線の名称で認定済み。

**Q** 認定するメリットは？

**A** 交付税算定基礎数値が増え、現在工事を行う事業費が起債の対象となる。



法務局通線

# 先進地を研修（報告）

## 経済建設

日程 11月4日～6日

研修先 長野県長野市、松本市、安曇野市、木曽福島町。

○長野市（約38万人）

「まちづくり長

野」は中心市街地活性化に向けた本格的な取り組みを進めている。具体的な取り組みとしては、撤退したダイエーの土地建物を市が購入し「もんぜんぷら座」として再生し、一階がとまと食品館、二階から上は子育てなどの公共施設としてオープンしている。



中心市街地活性化事業  
蔵づくりの民家を再生

## 文教厚生

日程 10月13日～15日までの3日間

○米沢市（約9万3000人）

『米沢すこやか健康センター』は、平成6年3月に総工費約20億円、延床面積約6500㎡の3階建てとなっている。

健康づくり運動計画として『おしよしな健康よねざわ21』を掲げ、重点課題と数値目標が示され、また『おしよしな健康よねざわ10ヶ条』も掲げられており、健診受診率向上対策としてのPR、啓発、周知徹底に対して市民や、職員も健康になる事をアピールし『元気なまちよねざわ』を目指している。

○喜多方市（約5万4700人）

『太極拳まちづくり』は、喜多方市の特徴的な事業のひとつであり、太極拳や独自で2年間改良を重ねて完成させた『太極拳ゆったり体操』は1300名を超える市民が親しんでおり、毎朝市内の4ヶ所地元FM局が放送する太極拳の音楽に合わせ、朝練が行われ、

## 総務

### 男女共同参画・行政改革・企業誘致

日程 10月20日～22日

研修先 沖縄県・北谷町・名護市

○那覇市県男女共同参画センター

沖縄県における審議会等における女性委員登用率26・6%、県庁の管理職の登用状況6・69%、市町村管理職の登用6・6%。大津町では管理職6・25%、審議会等で16・9%、委員会10・8%となっており、本町よりも沖縄県の登用率が高い。本町においても目標値に向けて、努力していかねばならない。

○北谷町（約2万7000人）

職員の定数管理、能力アップなど厳しい財政状況の中で行政システムの構築を図り、自立・協働のまちづくりの実現に向けて頑張っている。

特に財政面では、基地依存度の高い状況であったが、返還地にアメリカンヴィレッジ、ショッピングモール、



## ○松本市(約23万人)

まちづくり交付金事業で、平成16年から7地区に分けて123億円かけて取り組んでいる。特に市周辺の市街地整備は10億円、主に生活道路の整備であった。松本市は人口23万人で信州大学、松本大学を中心に学問の町、文化の町、若者の町としても栄えている。



まちづくり交付金事業による街路整備

## ○安曇野市(約10万人)

掘金物産センターを視察し、年間6億円の売上げがあるとのこと。地産地消に貢献し、組合員の大半は農家の主婦で、売上げの多い人は年1千万円以上の人もあるとのこと。

## ○木曽福島町(約8000人)

宿場町として栄え、山にはさまれた町としてすばらしい町並みになっている。大津町としても人が歩いて回遊するような工夫が必要だと感じた。



木曽福島町の街路

市役所や消防署等の職場でも太極拳が取り入れられている。

## ○会津若松市(約12万7000人)

『会津若松市立河東学園小学校』は、平成19年4月1日敷地面積8万3117・43㎡、3校統合で開校している。総事業費は、約36億円、通学距離が2km以上はスクールバスが利用されており、全校生の40%が利用している。



太極拳体操

将来的には、中学校、幼稚園の建設予定がある為、『学園』と校名を定められ、既に用地も確保しており、素晴らしい総合学園となる事であろう。

建築の基本計画から基本設計までを東京都立大学の上野研究所に委託されたのは、経費削減にもなり、試みも良かったのではないかと。

幼稚園から小学校、中学校を同じ

場所に集中させる事により施設の高度利用、小中連携による指導体制の確立、教育の多様化に対応、そして地域社会への開放と今後の学校建設の在り方に参考になった。



仕切り壁のない教室

ホテルなどを誘致し、年間770万人訪れるという観光産業に取り組んでいる。

また、町民の信頼に応えるように議会の公開、透明性に努めるとともに、平成18年度に議員定数を22人から19人にした。

## ○名護市(約6万人)

2000年G8沖

縄サミット開催後、2002年まで金融特別情報特区に指定され、第3次総合計画の下に産業の振興を摸索している。その方向性は、金融IT関連企業誘致の集積を図り、経済産業基盤の構築、新規雇用の創出を図っていくということ。就業者は現在940人、平成24年度には1千500人、平成30年度には2千500人の雇用を実現する。

企業の定着と拡大を促す目的で、産官学連携のソフト事業とターゲット型の支援を行い、特区と地域との融合を図り、ビジネスインフラ整備都市機能をいかにして生活基盤の整備まで高めるか、今後の課題である。



名護市役所での説明



北谷町の公文書館

審議しました

あなたの

請願・陳情

## 採択

電源立地地域対策交付金制度の  
交付期間延長等を求める意見書  
の提出について（依頼）

陳情者

全国町村会ダム・発電関係市町村全国協議会

会長 辻 一幸

## 採択

改正貸金業法の早期完全施行等  
を求める陳情書

陳情者

熊本県司法書士会

会長 黒江 正志

## 趣旨採択

浸透枓調整池の建設に関する陳  
情書

陳情者

高尾野区長 古庄 廣美

## 不採択

医師・看護師の大幅増員と独立  
行政法人国立病院機構熊本再春  
荘病院、菊池病院の存続・拡充  
を求める請願書

請願者

全日本国立医療労働組合

賛成6名 反対9名

再春荘支部長 廣田美栄子

## 不採択

「教育予算の拡充を求める意見  
書」（案）の提出を求める請願

請願者

樋口 利恵

賛成7名 反対8名

## 電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める、意見書

水力発電ダムに  
関わる発電用施設  
周辺地域住民の福  
祉の向上と電源立  
地の円滑化に資す  
ることを目的に創  
設されたものであ  
り関係市町村では、  
この水力交付金を  
活用し、防火槽や  
防災無線等の公共  
施設の整備、診療  
所や保育園の運営  
費等への充当によ  
る住民生活の利便  
性向上をはかって  
いるところである。  
今後とも安定的  
な水力発電を維持  
する必要があるこ  
と等を考慮の上、  
平成二十三年度以  
降は恒久的な制度  
とすること及び原  
子力発電所交付金  
との格差をふまえ  
た交付金の最高限  
度額及び最低保証  
額の引き上げなど  
交付条件の改善や  
事務手続きの簡素  
化をはかれるこ  
とを要望する。





永田 和彦議員

## 現状認識の町発展計画とは！

町長／地域経済活性化に努力する

地の利を活かす事を考  
えれば有効な交通体系の  
整備や企業誘致活動が見  
えてくる。既存企業の利  
便性を高め町から離れに  
くくし逆に集積につなげ  
たり、製造過程における  
発熱を白川の水を利用し  
たり、風力などの自然エ  
ネルギーも企業にとって  
は魅力的で、温暖化ガス  
削減に優位性を持つ提案  
になる。地下水に至って



自然エネルギーを生かす時代  
—俵山の風力発電—

**家人町長** 本田をはじめ中核工業団地、あるいは南部工業団地関連等に

は申すべきも無く、これがあるから今迄の企業誘致は成功したのである。今の現状に見合い、5年後10年後と将来に希望が持てる政策は必ずあるはずだ。特に雇用についての施策が求められる。

# 町政を問う

一般質問  
9 議員

各議員の質問を要約編集していただきます。ぜひ議会傍聴においで下さい。

## ゴミ処理問題！

町長／ゴミ袋代金から分別回収に補助

ゴミの分別などは各自治体で違うが、有効性を検証しなければならぬ。  
① 多年度にわたる分別の成果を説明責任の下に公表しなければならぬ。他の自治体に勝るとも劣らぬ証拠が必要だ。

モノもある。有料袋を義務化し町民負担を求めるのは正當か。  
③ 分別により多くの場所が必要となった。家庭空間を束縛せぬよう常時持ち込み可能な回収拠点の設置が必要ではないか。



ついで厳しい状況であると認識している。今後、環境問題も含め企業をどのような形で誘致するか、職員1名を通産省の新エネルギー課へ派遣しエコやバイオ関係の勉強に行かせ取り組みたい。

また、企業の支援では公用車はもちろん職員をはじめ住民の皆さんに地産地消という意味で地元企業の製品を買っていただくよう努力する。

町の特産、農産品をはじめ企業製品の運送としての熊本空港の夜間利用は必要と考えるが、住民の皆さんの反対は十分認識している。企業誘致、経済の活性化、雇用改善になるならば周辺道路と夜間空港の推進もありうる。

(21年度)  
菊池環境保全組合負担金  
435, 078, 000円  
ごみ収集運搬業務委託料  
67, 822, 000円

ゴミ処理機補助、あるいはごみ一時保管場所の設置等についての補助事業をその中からやって、残りについてはごみ収集の方に使っている。  
環境保全組合に出した17の有価資源物については昨年3300万円だが、世界の情勢・状況もあろうが今年は11月までに840万円程しか入ってきてない。その金はごみ処分料町負担を軽減する為に使わせていただいている。

## 保育所がまだ足りない

町長／定員増で対応している



荒木 俊彦議員

大津町は嬉しいことに就学前幼児の人数が1992人となり、一方で保育所が足りず定員オーバーがずっと続いている。定員630人に対し、最高時で769人、122%割増状況である。唯一の公立大津保育園は狭い上に定員割増、食

### 大津町の保育の推移

	13年度	21年度	比較
就学前幼児数	1863	1992	+129人
保育所数	5	6	+1園
定員	450	630	+309
入所児数4月	504	710	+206人
定員 割増率	112%	113%	
入所児数3月	603	769	+166人
定員 割増率	134%	122%	



#### 家入町長

定員割増は

事と昼寝とおやつを食べるのが同じ部屋である。せめて食堂を別にすることで改善が必要。大津町の保育所は少なすぎる。定員オーバーを解消し環境のよい保育が必要である。

大津保育園は、大変狭い状況であるが、保護者の人気は高い。環境の改

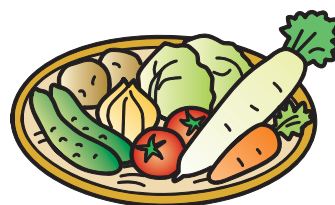
善について食堂を別に備えている保育園は現在はない。新たな保育園の話もあるようだが、私立各園の皆さんとも相談しながらすすめたい。

#### 国別1人当たり基準保育面積

	m <sup>2</sup>
スウェーデン・ストックホルム	7.5
フランス・パリ	5.5
アメリカ・ワシントン州	4.6
ドイツ・バイエルン	3.5
日本	1.65~3.3

## 公共事業の賃金保障を公契約条例が有効

町長／勉強、調査する



町内の中小零細企業は約1100社で1万6000人以上の雇用がある。

## 中小企業・農業支援を町長／要望把握に努める

もっと中小企業支援が必要ではないか。農業支援では農産物加工施設や直売所が有効ではないか。長野県安曇野市の直売所では、農家の主婦を中心として年6億円売り上げがあり、学校給食の野菜類は全部提供している。

千葉県の野田市で全国初の公契約条例が可決された。行政はこれまで、公共事業の入札をしたら、あとは労働者の賃金などお構いなしで来た。もうそんな無責任なことをやっている時代ではない。働く人たちの賃金をきちんと保障すること。また、企業同士の異常な価格競争に歯止めをかけるためにも、この制度は非常に有効である。画期的な公契約条例の

導入、研究を進める考えはないか。

#### 家入町長

公契約条例

は、野田市につづいて大阪府も検討に入っているようだ。本来国が基本を決めるべきだと思う。

例えば建設業関係について元請けは何とかなっているようだが、下請け企業などの人件費問題については、検討が必要と考える。全国状況を見ながら事務方でも、勉強調査等にも入りたい。

家入町長 中小企業支援として小口資金融資、店舗等の設備資金融資、利子補給、あるいはがんばる商店街の支援事業等に取り組んでいるが、大変な経済状況のなか担当の職員で、企業の要望聞き取り調査などに取り組みたい。





吉永 弘則議員

## 立野ダム問題について

町長／期成会として新政権に打診している

平成21年8月に政権交代が行われ、10月9日の会見で前原大臣がハッ場ダム、川辺川ダムは建設中止、地元の立野ダムは凍結する旨の発言があり

また。立野ダムは白川沿線の洪水被害を防ぐことを目的とした治水ダムである。昭和28年の大洪水をはじめ昭和55年、平成2年と3回にわたり洪水被害が発生している。このダム問題に対して町としてどのように対処されるのか町長の見解を伺う。

**家入町長**

言われるようにこの事業は大変長くかかっている。

期成会では辻本副大臣と面会し危険区域等についての説明をしている。今のところ、12月の予算を見ないと何とも言えないが、予算が付けば、石坂線について地元説明会をしなければならぬ。期成会としても新たなルートで、充分ダムの説明、進行に頑張っていきたいと考えている。



立野ダム完成予想図（国交省資料）

## 学校の校区の見直しについて

教育長／校区内での話し合いにより検討したい

現在、町中心市街地における大津小・室小の児童数は増加傾向にあり、今後は美咲野地区にも学校建設の計画がある。一方北部・南部・東部地区では児童数が減少している。ただ小中学校には校区制があり、児童数はその大半が中心市街地に集中している。地元住民が地元に着させる方策は勿論であるが、町としても田舎に何らかの具体策

を検討するのめいかかかと思う。校区の見直し等、どのような計画があるのか伺いたい。

**宮崎教育長**

大津小・

室小は増加、北小・南小・東小は減少という状況である。21年1月に教育施設検討委員会等で将来的な学校の配置について検討し答申をいただいている。北小は現校舎を使用、東小は平成24年度

頃には複式学級となる可能性がある等の意見である。いずれにしても校区内の話し合いをいただいている現状である。東小校区については、校区のご理解が整えば見直しも検討できると思われる。また町営住宅の件では一時的には効果があるかもしれないが、恒久的には減少対策は難しいと思われる。



大津東小学校



# 町有林（私有林）の今後の管理は

## 町長／国の補助事業を活用する



石原 大 成議員

**家入町長** 町有林について学校建設、公共事業等に活用していきたい。

町有林の管理状況等も昨年から今年にかけて施行計画もできあがっている。

町民の方から1ha近くの50年生の山の寄付をいただいている。木材搬出には国の補助事業を活用し、国産材が若干高く付いても地元の杉松を活用することが金に代えられない大きな郷土愛になると思う。

私有林についても補助事業のPRをしつかりしながら間伐、下刈り事業を進めていきたい。

森林問題は長年の懸案であり、早急な解決は難しいかと思うが、森林を伐採放置したことによって、砂漠化、地球温暖化など異常気象による地球環境の悪化をもたらしている。

大津町では、環境の森、広葉樹の森など環境教育

の一環を果たされているが、他方、人工林は、管理してもなかなか経済効果が少なく、山が荒れる、なおさら金にならないといった悪循環が繰り返されている。

新しい与党政権によって、今までの予算や補助がどのようになっていく

のか、非常に心配である。国の動向見通しがどのようなになっているのか、そのことで町として町有林、私有林の事業計画をどのように立てていかれるつもりなのか、町長の考えを聞きたい。



間伐作業風景

**家入町長** 大津小学校分離校は平成25年4月開校を目指している。

現在活用を検討しているのは、瀬田裏の樹齢64年の松6・69haと、寄附をいただいた古城の樹齢50年の松、約1haを校舎

の材料として利用したいと考えている。

今後ワークショップを取り入れながらPTAや教職員、地域住民、関係の方々のご意見を伺いながら、すすめていきたい。

大津小学校分離校に町有林木材を活用する計画は、非常に嬉しく思うが、具体的に町有林をどのよ

うに活用するのか、木造校舎への取り組みをどのように説明されていくのか。

## 学校建設に町有林木材を 町長／杉・松を活用したい



大津小分離校予定地





月尾純一朗議員

## 太極拳による 元気一大津のまちづくりを

町長／生涯学習、健康づくりに  
太極拳の普及を図る

福島県喜多方市では、全国初の太極拳の町を宣言し、市独自で開発した「太極拳ゆったり体操」に取り組み、健康づくりを進めている。現在、市

(喜多方市のパンフレットより)



**家入町長** 太極拳は将来の健康づくりの基になるのではないかと思っている。大津町では公民館講座で18年度には「さわやか太極拳教室」、本年度は「健康太極拳教室」を開催している。その後、

自主活動として実践しておられるし、会場使用料の減免もしている。さらに、NPO法人クラブおおづでも太極拳教室を開催しておられる。じわじわと太極拳が浸透しつつあるなと思っている。残

内各地で太極拳教室が行われ、1300人を超える人たちが親しんでいる。太極拳は中国の古い歴史の中から生まれた武術であり、健康法である。全身をリラックスさせた状態でバランスよく動かすので、心身への健康効果は非常に高く、今日注目

を集めているスポーツの一つだ。いつでも、どこでも、誰でもできる運動であり、身体機能のバランスを回復するのに役立つと言われている。運動性があり高い効用が見込まれる太極拳を利用した健康促進の取り組みを進める考えはないか。

## エコツーリズムによる持続的な 観光振興のまちづくりを

町長／これからがPRしていく時  
認証関係も計画していく

念ながら講師は全て町外の方である。「太極拳ゆったり体操」の実施については、喜多方市が指定する指導者の資格を取得する必要がある。町民の皆様の生涯学習、健康づくりを推進するために公民館の講座等により、ますます太極拳の普及を図っていきたい。

**家入町長** 大津町の地域振興と観光産業の育成については、これからがPRをしていく時期に来ていると思っている。エコツーリズムの認定も受けて、新幹線や空港関連に基づくところの観光産業としての生きる道を今後探していかなければならない。そのための基礎的な準備を今やっている。

認証関係についても今後計画していきたいと思う。環境問題に取り組む団体等のネットワークの構築を進めるなど、今後とも行政と各種団体等の連携した取り組みができるよう体制づくりを考えている。また、ボランティアの方々や育成や雇用等も考えていかなければならない。

**エコツーリズムとは、**その地域の自然環境の資源を損なうことなく観光を興し、地域振興につなげる取り組み。市町村が主体となり、事業者や地元住民、土地の所有者、専門家らからなる推進協議会を設置する。国が広報に努めるほか、旅行者の迷惑行為を規制する。これまでのパッケージ型の観光とは異なり、地域

の自然環境の保全に配慮しながら、時間をかけて自然とふれあうエコツーリズムの取り組みは、新たな観光需要を喚起し、地域振興へ大きくひろがるチャンスとなる。大津町は、エコツーリズムとして全体構想を策定し、環境資源、観光資源をまもり、未来への遺産として継承していく考えはないか。



白川の流れ

# 危険！な踏切

町長／自覚している

大津町商工会から南のダイレックス方面へ抜ける道（町道後迫前田線）には踏切がある。  
交通量が多いにもかかわらず、道の幅が狭く、車の離合や歩行に大変危険を伴っている。  
車が離合する際にはどちらかが待っていないといけない。  
さらに踏切部分が高くなっている、山を乗り越えていくような感じ



前田踏切



坂本 典光議員

になり、ドライバーは脱輪しないよう緊張感が走る。  
9月議会の時、経済建設常任委員会で道路整備課に確認したところ、改良の計画はないとの答弁であった。  
それではいかんのではないか。  
あまりにも危険である。

この水路は上井手の支流であるから、24年に県が実施する上井手改修の際に工事の一部として改良するよう要望している。  
その工事と同時に道路の拡張をするよう町の担当課に指示している。ただ現段階では道路を拡張するにあたり、用地交渉が難しそうだと言っている。

**家入町長** ご指摘のとおり大変危険であることは自覚している。  
十字路の交差点であり、道路の下には水路が走っている。

## 若々しい未来に向けた町を目指すべきだ

教育長／3校とも地域に溶け込んでいる

さて踏切部分であるが、JRとの話し合いをしているが、いまだし検討、話し合いの時間をいただきたい。  
**中山土木部長** JRとの話し合いの内容であるが、過去に中学通りの踏切とH-Iヒロセ通りの踏切を改良した経緯がある。その改良の段階でJRは前後の踏切を閉鎖してほしいという条件を付けてくる。  
JRとしては踏切は少ない方がいいと思う。そういう状況で現在交渉中である。

大津町には県立の学校が3つある。大津養護学校、翔陽高等学校、大津高等学校である。  
大津養護学校は昭和55年に設立された。  
翔陽高等学校は大正3年に大津町ほか7ヶ町村立の東部高等学校としてスタートし、その後、東部実業高校、県立大津農業高等学校、県立大津産業高校と名前を変え、平成8年には県下初の総合学科設置を機に県立翔陽高等学校として現在に至っている。  
大津高校は大正11年に県立大津中学校として設立され今日に至っている。サッカー、女子バスケットはもちろん進学校としても有名で、文武両道日本一を目指して頑張っている。

これらの県立学校があるだけでも大津町の活性化に貢献している。  
これらの生徒及び高校生をまわすに及ぶ高校生を若々しい未来に向けた町を目指すべきだ。  
さらに付け加えると、これらの学校は大津町が菊池郡東部地区の中心地として栄えていた時期に設立されていることを忘れてはならない。  
現在、大津町の人口は3万2000名、一方隣の菊陽町の人口は3万6000名、数年のうちに4万人になるだろう。  
大津町も人口を増やす努力をしないと、地域の中心が菊陽に移っていくだろう。県立学校、警察、九州電力などが移転していく可能性がある。  
**宮崎教育長** 高校は県教育委員会の管轄だが、大津町教育委員会としてもできるかぎり高校と連携を取る努力をしている。例年行われているチャレンジキャンプにはジュニアリーダーとして今年は22名の協力があつた。  
大津高校は独自に献血運動に協力し、翔陽高校では楽善食堂から325号線までフラワー道路を美しく管理している。  
大津養護学校は大津駅昭和園の清掃をされている。





府内 隆博議員

## 食品会社を誘致しては

町長／地産・地消をしっかりと考え検討課題

特産大津甘藷を地元大津で会社を誘致し、加工製造、販売まで出来ないだろうか。酒造会社を誘致して焼酎を製造出来ないだろうか。水は名水百

選に選ばれた諏訪水源の水で国産100%の安心安全の大津ブランド焼酎も夢ではないかもしれない。それと、食品加工会社は菓子類の原料を加工し地元の菓子製造会社に原料を提供する事で地場産業の育成にもつながると思う。その他にも県内には、大手の菓子メーカーもあり加工品の需要は大にあると思う。

**家入町長**

甘藷には、町もこだわりを持ちながら地産地消にしっかりと取り組んで行きたいと考えている。会社誘致という意味においては今後の検討課題である。うまく醸造会社なり、加工会社が来ていただく為に、町



甘藷集荷風景

としてどれだけの支援・補助が出来るかということも今後の課題である。

## 大学生の就職支援で緊急一時雇用ができないか

町長／募集しながら優秀な人材を

厳しい経済状況の中、大学、高校生の就職内定率が依然低迷し深刻な状況である。県内企業からの求人も最悪となつている。大津町においても企業からの求人も激減、本町技研でも採用しないそうである。そんな状況で一人か二人でも緊急一時雇用できないか。

**家入町長**

大変厳しい状況で、若いひとたちが夢と希望を持っていないような状況である。大津町の関係企業、特に本田技研でも二輪専門になった関係で臨時雇用とか、期間、関係とか、いろんな方々を解雇しており、雇用対策について頭を痛めているところである。今後町としても地元で就職できるような教育向上を目指していく。

## 武道館の建替えの計画はないのか

町長／重要政策に位置づけ

武道館が建設されて34年になり老朽化が進んでいる。駐車場も狭く、中学校にも迷惑をかけているので保護者の方々も心配されている。小学生から中学生、それに一般の方々、その他に空手などの練習にも使用されており、特に小学生、中学生が練習試合などに汗を流している。大津町からも多くの剣士が育つて、高校や大学で活躍している。厳しい財政状況とは思われるが、町長のお考えを。

**家入町長**

駐車場もななく狭いところに建っている武道館ということで、一般の大きな武道館としての役割は果たしてないと思う。大津町も剣道の盛んな町であり、青少年教育に非常に役立っているのは確かである。そういう意味において、財政的には非常に厳しい状況ではあるが重要政策に位置づけて、できるだけ早く取り組んでいけるようご理解をお願いしたい。



大津町武道館



源川 貞夫議員

## 政府の事業仕分け作業の結果について

町長／民主党を通し  
要望していく

政府の今回の「事業仕分け作業」の結果に対して熊本市では200余りの事業に影響があると分析している。  
現時点では未だ、はっきりしていないが、2010年度からの予算編成に、特に影響が出てくる事業とそれに対する今後の対応、そして方向性を問う。

## 農道整備（舗装等）について

町長／3割負担で進める

農道整備（舗装等）をする場合、受益者（地元）

家入町長

事業仕分け

には法的な拘束力はないが、見直しや縮減と判断された事業でも最終的には政治判断で仕分け結果を覆す可能性があると示されており、今後も情報等の収集に努めたい。

民主党県連を通しながら、理解をして戴き、町の予算に反映出来る様に要望していく。

徳永企画部長

特に、

影響が出てくる事業としては、まちづくり交付金事業・農道補修関係の事業・下水道事業・農業集落排水事業・公立学校施設整備事業・介護予防事業・農林水産省所管の各種施設・機械関係の補助金・交付金等があげられる。



未舗装農道

家入町長 圃場整備事業については大津第1、大津第2工区は23年と26年で大体償還金が終わる予定である。  
町としては年に1000万円の利子補給をしている。

幹線道路については村づくり交付金事業（今年で終わり）でしている。

国の補助事業での、農地・水・環境保全事業等や、原材料支給もやっているの、地域の中で相談して3割負担で、農道舗装関係も順次進めて欲しい。

農道整備事業に対しての町長の考えを問う。

## 中央バス停前を 駐車場として開放する考えは

町長／駐車場としては無理

まちづくり交付金事業のひとつである中央バス停前の『まちづくり交流センター建設予定地』の空き地を、着工までの期間だけでも駐車場として開放する考えはないか。  
また、空き地のままでは、大津町の中心街の中央バス停前でもあり、景観上も悪い。  
建設予定地の看板を建てるとかして欲しい。



中央バス停南側空地

家入町長 町内を見渡してみると、駐車場料を払って商売されている方もおられるので、若干駐車料を払って頂けないかという話はしている。  
町や、町内のイベントをする場合は開放するが、管理上でも、駐車場としては、考えていない。  
西本経済部長 看板については、分かり易い様に、早急に対応したい。





鈴木ムツヨ議員

## 教育を問う

### 教育長／年間計画で実施

1. 安全対策は万全か。  
大津中、南小学校、北小学校は築30年を経過し、東小学校は40年を経過。昨年10月の休日に運動場で遊んでいた野球ボールが児童昇降口の底に当たりコンクリート枠の固まりが落ちる事件発生。子供たちへの影響はなかったが、大規模改修が必要。計画は。

2. 大津小は、現在児童数920人で、来年は約990人になる予定。緊急避難の状況が起きた場合、1次や2次災害も考えられる。訓練と対策は。  
3. 大津小の教職員は50で内女性35人。対するトイレが1ヶ所で便器が3個。来年は5人増員予定。3階建て10分間の休みに順番待ちもある。対策はあるのか。  
4. 職員増により机が職員室に45しか置けない。10人の先生が2人で1つを共有。机の複数使用は個人情報保護へも影響が考えられる。対策は。  
5. 性教育の実態と取り組みは。  
6. 薬物乱用防止教育とたばこ、アルコールの有毒性に対する教育の現状と方針は。

#### 宮崎教育長

1. 校舎の改築改装は予算と検討しながら対応していきたい。  
2. 年間計画により避難訓練を実施。一つの通路に集中しない様配慮。

3. 早急に対応する。  
4. 新年度配置予定の図工室に机を配置するよう検討。大津小。  
5. 町内小中学校の年間指導計画により実施。  
6. 薬物乱用防止計画として年間計画で取り組む。



護川小1年生 性教育

## 薬物汚染問題への対策は

### 町長／積極的に推進

若年層を中心に薬物が拡大している現状がある。町民を薬物から守るため

の対応と問題点及び今後の方針は。

ドラッグの種類					
覚せい剤・大麻・MDMA・シンナー・コカイン・アヘン・LSD・マジックマッシュルーム等					
H20年シンナー等有機溶剤事犯検挙補導状況 熊本県警 (人)					
全 国	1426	内少年	479	熊本県	95
				内少年	58
覚せい剤事犯					
全 国	11041	内少年	249	熊本県	118
				内少年	7
大麻事犯					
全 国	2778			熊本県	34
				内少年	3
H21年10月末 検挙数 (人)					
熊本県	246	内少年	63	大津署管内	14
				内少年	3

熊本県警の資料より

## 光化学スモッグ等への対応は

### 町長／防災無線を複数回に

地球温暖化、オゾン層破壊、森林の減少、酸性雨、海洋汚染、生物種の減少、砂漠化、これらの問題は地球全体に及ぶ広範囲での環境破壊。ダイオキシン類は、塩素を含む有機物を低温度で焼却する時発生。微量でも猛毒を示す。光化学スモッグは石炭・石油を燃焼すると酸素と結びついて硫

黄酸化物になる。目やのどへの粘膜刺激、呼吸切迫、頭痛、めまい、吐き気等が起こると警告されている。人の体は、有害な化学物質によって障害が一度出してしまうと治療は非常に困難である。中国は主に石炭が利用され偏西風に乗り日本にも年に何回か流れてきている。大津にも光化学スモッグ注意報が出された。住民への対策は万全か。

町民会議の明るい社会と未来をつくる推進大会、社会を明るくする運動や、菊池地区保護司会大津支部と大津町更生保護女性会により薬物乱用防止を訴えていただいている。

町は引き続き青少年育成町民会議や関係機関団体と連携を図り、高校生保護者等を対象にした薬物乱用防止教室の開催など、広報啓発活動を行い積極的に推進していく。

#### 家入町長

本年7月に町生涯学習センターの東側駐車場に光化学オキシダント測定局を設置され、監視体制が強化される。連絡系統に伴い防災無線（現在一回を増やす）等で情報を提供する。国の25%削減に向け町も取り組みを推進。



# 大津町の宝 未来をになう若者たち



成人おめでとう



消防出初式 かわいい幼年消防団

白川北岸平地北半の約700町歩(695ha)の水田を潤していた用水路の堰です。  
天正16年(1588年)夏、肥後北半を拝領した加藤清正が、その入国にあたり、此処より北の高台の上にある二重の峠で案内役の西嶋坊と白川流域を眺めた時に、「あの草野に水を白川より分水し大津方面まで水を注ぐには、右の瀬田から上流の瀬田山麓に……取水口を作り手掘りなせば水かかりべく思はれ候」との提案を受けて構想した用水口です。  
現在では鉄とコンクリートの堰にその役割を譲りましたが、石堰を過ぎる流れは今も滔々と下って約24km、大津・菊陽・合志の大地460haを潤し、地域の産業・文化を繁栄させる大きな原動力となっている。  
古の恩を今に蒙る史跡です。

この議会だよりはリサイクル推進のため再生紙を利用しています。

## 表紙の解説 上井手取入口閘門

(瀬田上井手)



教育長に那須雪子氏

住 所：菊池郡大津町大字陣内  
学 歴：熊本大学教育学部卒業  
教諭期間：37年  
主な経歴  
大津町立大津南小学校校長  
大津町立大津小学校校長

## 編集後記

明けましておめでとうございます。  
新メンバーによる広報委員会も一年が経ち、今回で4回目の発行になります。

本年も、議会や役場行政について短い文章で、しかも解り易く、写真や表等も多く取り入れ、工夫をしながら広報委員一同頑張って参ります。

読者の皆さんが、知りたい事や、要望がありましたら、議会事務局まで、文書でお寄せ下さい。

(源川)

議会のようすを来て  
見て聞いてはいよ

次回は3月中旬予定です。

## 議会広報編集 特別委員会

委員長 長俊彦  
委員 荒木 俊二  
副委員長 金田 弘  
委員 吉永 則夫  
委員 源川 貞隆  
委員 内府